
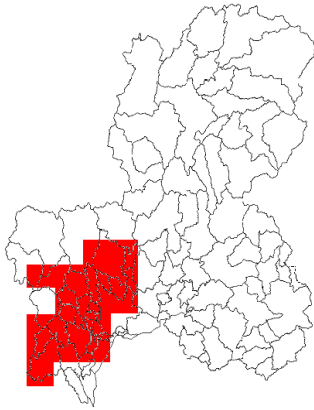


ホソバオオアリドオシ		<i>Damnacanthus indicus</i> Gaertn.f. var. <i>lancifolius</i> Makino	絶滅危惧Ⅱ類
			アカネ科
選定理由	岐阜県では生育地が少なく一部の場所を除き個体数も少なく存続の基盤が脆弱である。	写真(加藤範夫) 	
形態の特徴	常緑性の低木。葉は対生し長楕円形で長さ2-6mm、幅0.8-2mm。刺は短く2-10mm。花冠は白色で長さ1cmの漏斗形。花期は4-5月。		
生態的特徴	山地の林下に生育している。		
分布状況	県南の西部に点々と見られる。		
減少要因	生育地の林下の光条件の悪化が主な要因と思われる。		
保全対策	生育地の森林の適度な管理が必要である。		
特記事項	母種のアリドオシも同じ地域に見られる。		
参考文献	佐竹義輔他. 1989. 日本の野生植物. 木本. II. p. 201. 平凡社. 東京. 城川四郎他. 2001. 山溪ハンディ図鑑. 5. 樹に咲く花. P. 327. 山と溪谷社. 東京.		

文責: 荻山恒弘